

【鉦山の保安】令和7年度の鉦山保安標語の入賞作品が決まりました

令和7年度鉦山保安標語入賞作品発表

令和7年6月
鉦山保安課

全国鉦山保安週間（7月1日～7月7日）は、「国民安全の日」（7月1日）に合わせ、鉦山における自主保安活動を推進し、保安意識の高揚を図ると共に、広く国民の間に鉦山保安に関する認識と理解を深め、もって鉦山災害及び鉦害の防止に資することを目的としており、関係機関及び各鉦山では様々な取組が行われています。当部においては、毎年度保安標語の募集、選定を行っています。今年度も19鉦山から184作品の多数の応募をいただきました。

ご協力いただいた関係団体及びご応募いただいた皆様方には厚く御礼申し上げます。

応募作品については、令和7年5月20日に選考会を開き、厳正に審査した結果、以下の作品を入賞作品と決定いたしました。

なお、入賞された方々には、九州産業保安監督部長名による賞詞の交付を予定しており、また、入賞作品は後日印刷のうえ各鉦山へ配布しますので保安運動にご活用下さい。

★特選

やったはず・つもり・だろは事故の元 指差し、声だし、確認ヨシ

菱刈鉦山 堀 宏生

★入選

見る目 気づく目 注意の目 知恵を出し合いゼロ災職場

新津久見鉦山 下田 康一郎

安全は人に頼るな、任せるな「慣れ」と「油断」は 事故のもと

東谷鉦山 岡村 英行

急ぐな・焦るな・あわてるな手順守って安全作業

東谷鉦山 牧 真一郎

技術は伝承 危険は共有 みんなで繋ごう〇災職場

菱刈鉦山 中間 晃

※敬称略、入選作品は順不同